



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 東京製綱株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5981 URL <http://www.tokyorope.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 浅野正也
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役総務部長 (氏名) 佐藤和規 (TEL) 03-6366-7777
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	29,763	1.1	△80	—	△14	—	△341	—
30年3月期第2四半期	29,448	△8.4	990	△41.2	1,059	△14.3	744	△8.2

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △529百万円(—%) 30年3月期第2四半期 1,186百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△21.17	—
30年3月期第2四半期	46.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	85,834	24,631	28.7
30年3月期	86,306	25,781	29.9

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 24,631百万円 30年3月期 25,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	2.3	1,500	△51.5	1,500	△51.8	600	△76.2	36.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 東京製綱インターナショナル株式会社、除外 1社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	16,268,242株	30年3月期	16,268,242株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	145,087株	30年3月期	146,806株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	16,122,280株	30年3月期2Q	16,122,605株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が所有する当社株式(平成31年3月期2Q:134,300株)を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成30年11月29日(木)に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、相次ぐ自然災害の影響や通商問題の動向などによる懸念は高まりつつも、引き続き好調な企業収益、雇用情勢の改善などに支えられ、緩やかな景気拡大基調が続きました。世界経済もまた、米国を中心に緩やかに拡大しておりますが、原油高や米国から発した貿易摩擦の懸念などから、先行きに不透明感が広がる状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは、「国内事業の基盤強化」、「新素材・新技術への挑戦」、「海外展開」の3つをキーワードとして平成32年3月期を最終年度とする中期経営計画「TCT-Focus2020」の諸施策を推進しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、エレベーターロープや道路安全製品の売上が減少いたしました。スチールコード製品の販売量の増加や石油関連製品の売上増加により、29,763百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

利益面では、主に国内における太陽光発電向けシリコンウェハー切断用細物ワイヤ（以下、コアワイヤ）の売上減少等により、営業損失は80百万円（前年同期は990百万円の営業利益）、経常損失は14百万円（前年同期は1,059百万円の経常利益）となりました。また、特別損失に災害による損失289百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は341百万円（前年同期は744百万円の純利益）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(鋼索鋼線関連)

エレベーターロープは中国における需要の落ち込み、及び国内における交換需要の落ち着きにより販売数量が減少した他、台風影響による一般鋼索等の出荷遅延などもあり売上利益とも減少いたしました。その結果、当事業の売上高は13,908百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は700百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

(スチールコード関連)

国内におけるタイヤコード並びに中国におけるコアワイヤの販売数量が増加し、当事業の売上高は5,525百万円（前年同期比3.1%増）となりましたが、前期堅調であった国内のコアワイヤの売上減少により、営業損失389百万円（前年同期は50百万円の利益）を計上いたしました。

(開発製品関連)

道路安全製品並びにCFCC製品が減少した結果、当事業の売上高は5,376百万円（前年同期比8.2%減）、営業損失は846百万円（前年同期は455百万円の損失）となりました。

(不動産関連)

当事業の売上高は605百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は150百万円（前年同期比4.6%増）となり、概ね堅調に推移しております。

(その他)

原油価格の上昇に伴い石油製品関連の売上が増加し、当事業の売上高は4,348百万円（前年同期比26.2%増）となり、営業利益は産業機械関連の増加により303百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産、建設仮勘定が増加したものの、現預金や売掛金、評価替えによる投資有価証券の減少により、前連結会計年度末と比べ471百万円減少の85,834百万円となりました。

負債については、短期借入金や退職給付に係る負債が減少する一方、長期借入金の増加により、前連結会計年度末と比べ677百万円増加の61,203百万円となりました。

純資産については、当期純損失の計上、配当金の支払い等により、前連結会計年度末と比べ1,149百万円減少の24,631百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ900百万円減少し、3,451百万円となっております。

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産が増加したものの売掛債権の減少、減価償却費等により、1,125百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得により、2,443百万円の支出となりました。
財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の増加により、391百万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月29日に公表した予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,374	3,474
受取手形及び売掛金	14,311	13,231
商品及び製品	6,939	6,878
仕掛品	4,167	4,341
原材料及び貯蔵品	4,216	4,858
その他	1,346	1,640
貸倒引当金	△19	△17
流動資産合計	35,336	34,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,195	7,116
機械装置及び運搬具（純額）	6,985	6,645
土地	18,307	18,305
建設仮勘定	1,070	2,415
その他（純額）	1,507	1,477
有形固定資産合計	35,066	35,959
無形固定資産	626	858
投資その他の資産		
投資有価証券	9,355	8,838
退職給付に係る資産	154	154
繰延税金資産	2,952	2,851
その他	3,218	3,154
貸倒引当金	△407	△390
投資その他の資産合計	15,272	14,608
固定資産合計	50,965	51,426
繰延資産	4	1
資産合計	86,306	85,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,143	12,597
短期借入金	14,239	13,350
未払費用	2,672	2,459
賞与引当金	911	930
その他	5,379	5,439
流動負債合計	35,346	34,777
固定負債		
長期借入金	13,918	15,895
再評価に係る繰延税金負債	4,183	4,183
退職給付に係る負債	5,153	4,626
その他	1,923	1,720
固定負債合計	25,178	26,425
負債合計	60,525	61,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	684	684
利益剰余金	14,507	13,541
自己株式	△312	△308
株主資本合計	15,878	14,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,221	918
土地再評価差額金	9,718	9,718
為替換算調整勘定	149	△116
退職給付に係る調整累計額	△1,187	△806
その他の包括利益累計額合計	9,902	9,714
純資産合計	25,781	24,631
負債純資産合計	86,306	85,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	29,448	29,763
売上原価	23,308	24,361
売上総利益	6,140	5,401
販売費及び一般管理費	5,150	5,481
営業利益又は営業損失(△)	990	△80
営業外収益		
受取利息	12	9
受取配当金	115	140
その他	212	236
営業外収益合計	339	386
営業外費用		
支払利息	135	139
その他	135	180
営業外費用合計	271	320
経常利益又は経常損失(△)	1,059	△14
特別損失		
災害による損失	—	289
その他	—	54
特別損失合計	—	344
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,059	△358
法人税等	304	△17
四半期純利益又は四半期純損失(△)	754	△341
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	744	△341

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	754	△341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	346	△303
為替換算調整勘定	△55	△201
退職給付に係る調整額	165	381
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	△65
その他の包括利益合計	432	△188
四半期包括利益	1,186	△529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,176	△529
非支配株主に係る四半期包括利益	10	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,059	△358
減価償却費	998	1,071
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33	14
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	7	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	40	11
支払利息	135	139
受取利息及び受取配当金	△127	△149
売上債権の増減額(△は増加)	833	1,076
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,071	△831
仕入債務の増減額(△は減少)	240	556
前受金の増減額(△は減少)	354	164
災害による損失	—	289
その他	△339	△526
小計	2,096	1,462
利息及び配当金の受取額	146	181
利息の支払額	△133	△149
災害損失の支払額	—	△38
役員退職慰労金の支払額	△5	△92
法人税等の支払額	△394	△238
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,708	1,125
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
投資有価証券の売却による収入	—	14
貸付けによる支出	△342	△20
貸付金の回収による収入	177	39
有形固定資産の取得による支出	△1,506	△2,149
有形固定資産の売却による収入	17	23
その他	△181	△342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,844	△2,443
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,072	△2,775
長期借入れによる収入	—	5,300
長期借入金の返済による支出	△988	△1,423
配当金の支払額	△646	△646
自己株式の売却による収入	1	4
自己株式の取得による支出	△2	△1
リース債務の返済による支出	△136	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,301	391
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,235	△925
現金及び現金同等物の期首残高	3,144	4,352
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	100	24
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,481	3,451

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	不動産 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,163	5,361	5,858	620	26,004	3,444	29,448	—	29,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	72	44	3	—	120	358	479	△479	—
計	14,236	5,406	5,861	620	26,124	3,803	29,928	△479	29,448
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,006	50	△455	144	745	244	990	—	990

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械事業、粉末冶金事業及び石油事業を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	不動産 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,908	5,525	5,376	605	25,415	4,348	29,763	—	29,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	99	77	4	—	181	455	637	△637	—
計	14,007	5,603	5,380	605	25,596	4,803	30,400	△637	29,763
セグメント利益又は セグメント損失(△)	700	△389	△846	150	△383	303	△80	—	△80

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械事業、粉末冶金事業及び石油事業を含んでおります。